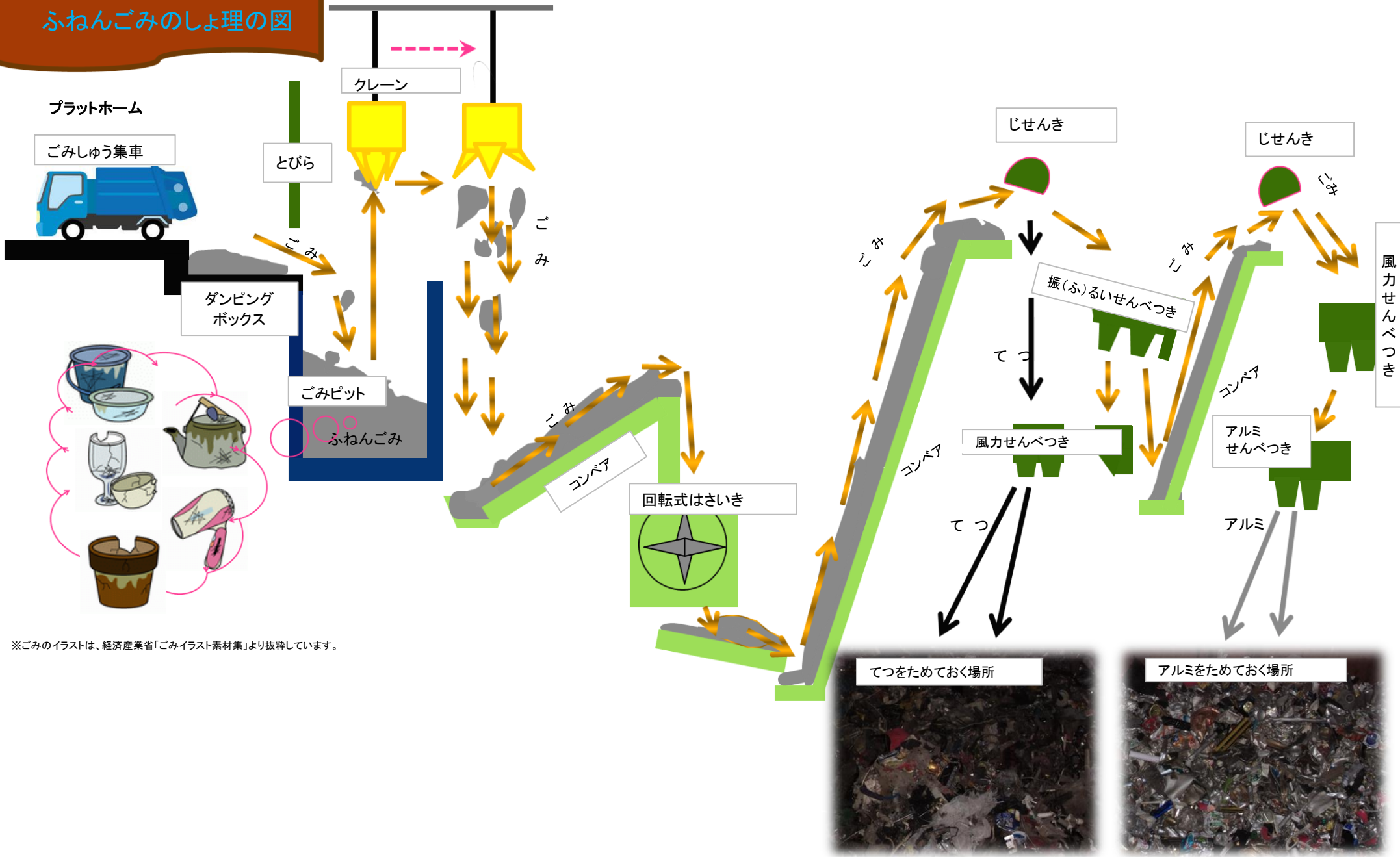


ふねんごみのしよ理の図



※ごみのイラストは、経済産業省「ごみイラスト素材集」より抜粋しています。

1 ごみを下ろす

① ふねんごみは、しげん化しせつという場所でしよ理しています。しゅう集車はごみをピットに直せつ下ろします。



ごみを下ろすしゅう集車

② 市みんのみなさんが直せつ持ってきた場合は、一度ダンピングボックスに下ろし、しよ員がごみの中身をたしかめて、それからピットに下ろします。



ごみの中身をかくにん

2 クレーンでごみをコンベアにのせる

クレーンでごみをつかみ、コンベアに乗せます。ごみはコンベアの上を流れていきますが、ばく発するようなもの(大きなガスボンベなど)が入っていないかどうか、もう1度かくにんします。



ガソリタンク



プロパンガス



ピットの中

クレーン

3 ごみを細かくする

コンベアを流れていったあと、ごみは回転式はさいきに入ります。はさいきの中では、ハンマーが秒速9回転(時速やく250キロメートル)で回っていて、大きなごみでも15センチメートルくらいにたたいてくださいます。



16個の大きなハンマーと12個の小さなハンマーが、このきかいについています。



4 ごみのせんべつをする

① 細くなったごみから、まずじせんきを使っててつを取り出します。このきかいは、じ石の役わりをしているので、これにくっついたものはてつということになります。風力せんべつきで風をかけて、てつにまざっているかねんごみを取りのぞき、てつを取り出します。

② 次に残ったごみは、ふるいせんべつきにかけられ、とうじきやガラスなどのふねん物が取りのぞかれます。

③ さい後にアルミせんべつきを使って、アルミを取り出します。このきかいは、じ石のプラスとプラス、マイナスとマイナスが反発するせいしつをおう用したきかいです。



5 てつとアルミのゆくえ

① ごみから取り出したてつとアルミは、リサイクルする工場に運ばれていきます。

② 風力せんべつきで取り出されたかねんごみは、しょうきゃくしせつに送られしょうきゃくされます。

③ とうじきやガラスなどのふねん物は、さいしゅうしょぶんじょうでうめ立てられます。

アルミのかん・スチールかん（てつのかん）のしよ理につ いて

鉄（スチールかん）とアルミかんは、トラックにつみやすくするため、それぞれ、あつしゆくきでプレスして（おしつぶして）、1つのかたまりにします。その後、リサイクルする工場に運ばれていきます。



写真はアルミかんの物ですが、スチールかんも同じように1つのかたまりにしてしよ理されます。

びんのしよ理について

1 集せき所では

「とう明・白色」「茶色」「そのた色のびん」の3しゆるいの色ごとに、コンテナボックスへ入れてもらっています。ごみしゆう集車（トラック）の中にも、3しゆるいのドラムかんが用意されています。作業員は、しゆるいごとにドラムかんにつめこみ、清掃センターに運んで来ます。



2 ごみを下ろす

清掃センターにも、3しゅるいのびんをそれぞれあける場所があります。これをカレットヤードと言います。作業員は、ドラムかんをつかみ回転させることができるフォークリフトを使って、しゅるいごとにビンのカレットヤードに下ろします。



カレットヤードです



3 びんのゆくえ

その後、びんはリサイクル工場に運ばれていきます。そして、「とう明・白色」「茶色」のびんは、新しいびんやガラスせい品に生まれかわります。また、「そのた色のびん」の多くは、すなのように細かくして道路を作る時にアスファルトやコンクリートにまぜて使われます。